

経営比較分析表（平成28年度決算）

北海道松前町 松前病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	7	-	ド透訓	救臨
人口(人)	建物面積(㎡)	不採算地区病院	看護配置	
7,793	5,060	第1種該当	15:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン(放射線)診療

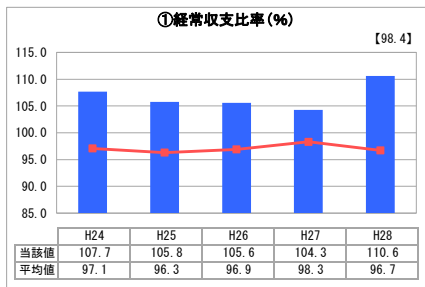
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床(一般)	許可病床(療養)	許可病床(結核)
100	-	-
許可病床(精神)	許可病床(感染症)	許可病床(合計)
-	-	100
稼働病床(一般)	稼働病床(療養)	稼働病床(一般+療養)
100	-	100

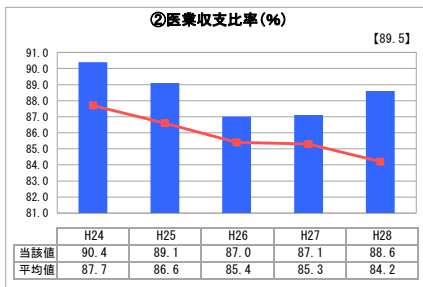
グラフ凡例

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- 【】 平成28年度全国平均

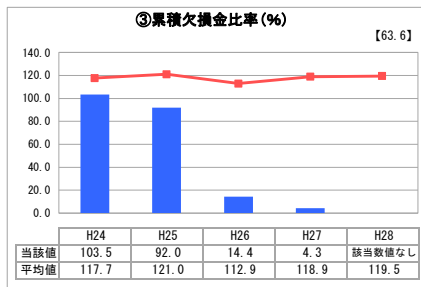
1. 経営の健全性・効率性



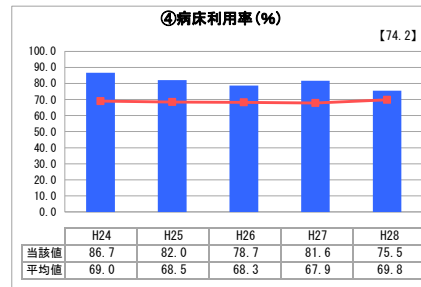
「経常損益」



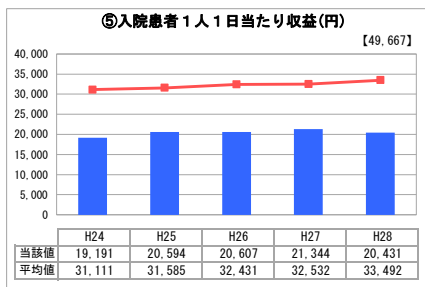
「医業損益」



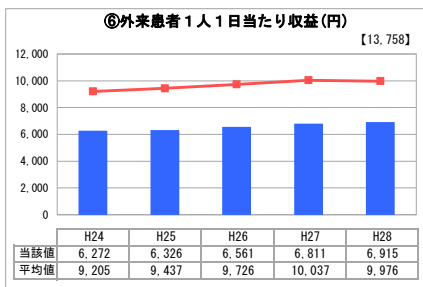
「累積欠損」



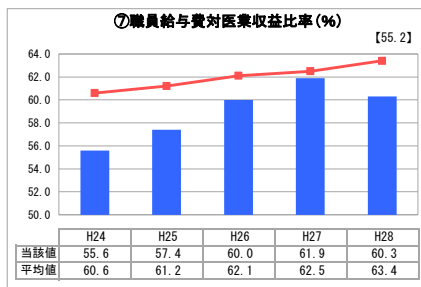
「施設の効率性」



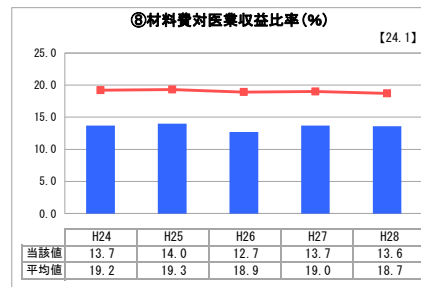
「収益の効率性①」



「収益の効率性②」

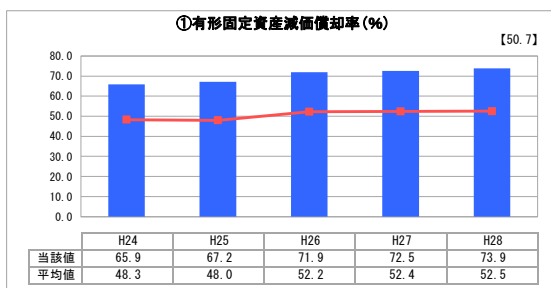


「費用の効率性①」

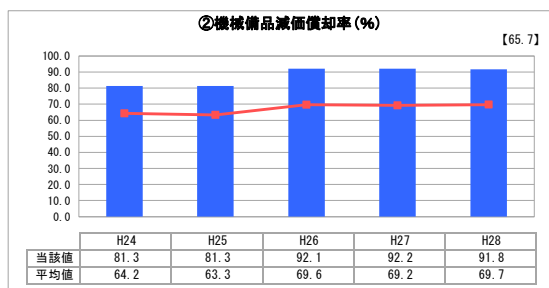


「費用の効率性②」

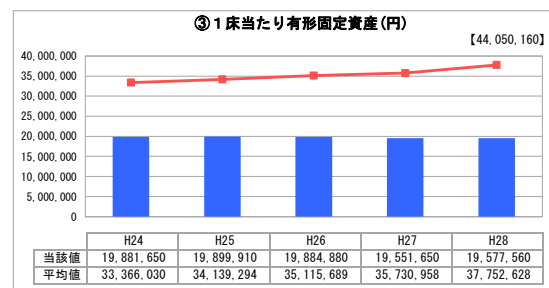
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「機械備品の減価償却の状況」



「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

当病院は、南渡島圏域の函館市内にある中核病院から片道約100Kmの遠隔地にあり北海道から「離島等特定機能病院」の指定を受けております。更にへき地・過疎地域にあり「不採算地区病院」の要件にも該当しておりますが、隣接する福島町はじめ上ノ国町の一部町民が利用する地域唯一の病院で有ることから、医療、介護、福祉、保健活動の拠点施設としての役割も大きく担っております。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当院では平成20年9月に「松前町立松前病院改革プラン」を平成21年度の黒字化を目指す5カ年の計画として策定しました。このプランでは、町からの支援等もあり、計画初年度の平成20年度に黒字化を達成し、不良債務(実質赤字額)も全て解消することができ計画終了後の現在も純利益(黒字)の計上を継続しているところです。医師の退職などにより経営形態の見直しや老朽化した施設の改築など検討を要する課題が現在、中断となっておりますが、医師確保等をはじめ安定的な運営基盤の回復を最重要課題と位置づけ、これまでの経営改革を継続する計画として平成29年3月に「松前町立松前病院新公立病院改革プラン」を策定しました。これにより平成28年度においても純利益を計上し累積欠損金を解消することが出来ました。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率、②器械備品減価償却率とも類似病院平均、全国平均を上回っており施設と器械備品の老朽化が著しく進んでいます。現在、新設、建替えの検討は中断しておりますが、建築から40年を迎えようとしており施設の修繕箇所も増加しております。医療機械の更新と合わせ改築等を見据えながら必要最小限の投資を計画的に行っております。

全体総括

平成28年度において、10月から医師が4名体制(後期研修医1名は院外で研修)となり函館市内の医療機関からの医療支援もなくなり、午後診療も休診とせざるを得ない状況となりましたが、常勤医4名体制でも入院抑制などおこなわず、10月以降も例年並みの入院患者数を維持することができ9期連続の黒字計上という大きな目標を達成することができました。町民の皆様様の健康と命を守り続けていくために病院はなくてはならないものです。今後とも町民の皆様様に愛され続ける病院であるよう努めて参ります。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。